

令和3年度病害虫発生予察注意報第10号

令和3年9月3日
愛知県

作物名：ナシ、カキ、カンキツ

病害虫名：果樹カメムシ類（主にチャバネアオカメムシ）

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 やや多い
- 3 注意報発表の根拠

(1) 豊橋市及び新城市に設置した予察灯において、チャバネアオカメムシの誘殺数が8月第5半旬に急増した(図)。

豊橋市の予察灯では、チャバネアオカメムシの8月第1半旬から第5半旬までの誘殺数の合計が694頭(平年239頭、前年349頭)で、過去10年間と比較して2番目に多い。

新城市の予察灯では、チャバネアオカメムシの8月における誘殺数の合計が397頭(平年162頭(※)、前年64頭)で、過去7年間(※)と比較して2番目に多い。

※新城市予察灯は平成26年度から場所を変更したため、過去7年間で比較。

(2) 7月下旬に行ったヒノキ球果の口針鞘数調査の結果、県内各地点において8月中旬から9月上旬にヒノキ林からの離脱が始まると予測された。すでに多くの地域で果樹園への飛来が始まっていると推定される。

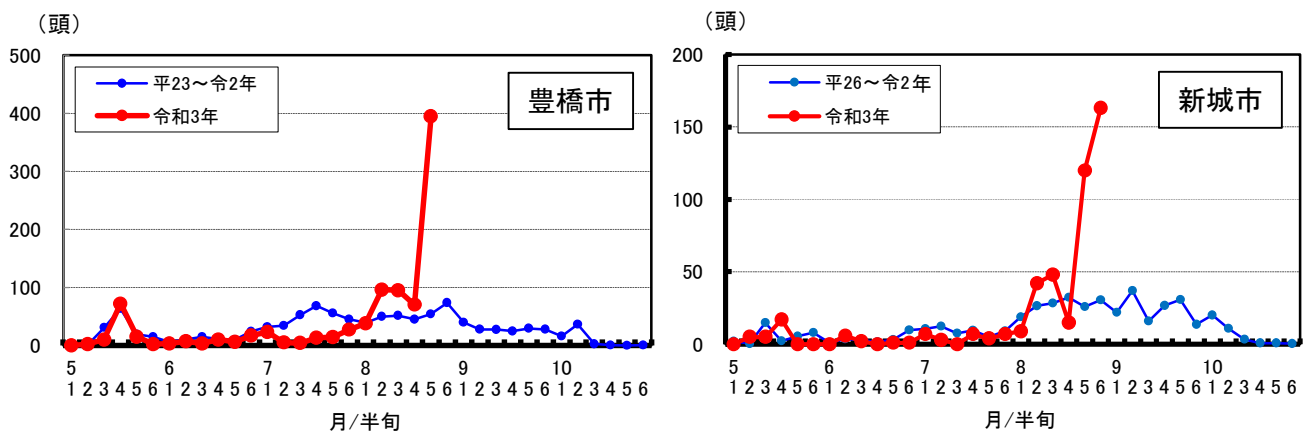


図 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺状況

4 防除対策

- (1) 果樹カメムシ類は気温が高く風の弱い夜に果樹園へ飛来することが多いので、ほ場での飛来状況をよく確認する。局地的に飛来し、集中的に加害する傾向があるため、被害の発生状況は園地間差が大きい。過去に果樹カメムシ類の被害が多かった園では特に注意する。
- (2) 発生を確認したら、次表を参考に薬剤を散布する。収穫中のほ場における薬剤の使用にあたっては、収穫前日数に注意する。

表 なし、かき、かんきつのカメムシ類に対する主な防除薬剤

作物名	薬剤名	成分名	使用時期	本剤の使用回数	IRACコード
なし	アクタラ顆粒水溶剤	チアメトキサム	収穫前日まで	3回以内	4A
	スタークル／アルバリン 顆粒水溶剤	ジノテフラン	収穫前日まで	3回以内	4A
	ダントツ水溶剤	クロチアニジン	収穫前日まで	3回以内	4A
	テルスターフロアブル	ビフェントリン	収穫前日まで	2回以内	3A
かき	キラップフロアブル	エチプロール	収穫7日前まで	2回以内	2B
	アクタラ顆粒水溶剤	チアメトキサム	収穫3日前まで	3回以内	4A
	スタークル／アルバリン 顆粒水溶剤	ジノテフラン	収穫前日まで	3回以内	4A
	アグロスリン水和剤	シベルメトリン	収穫前日まで	3回以内	3A
かんきつ	アクタラ顆粒水溶剤	チアメトキサム	収穫14日前まで	3回以内	4A
	モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド	収穫14日前まで	3回以内	4A
	スタークル／アルバリン 顆粒水溶剤	ジノテフラン	収穫前日まで	3回以内	4A
	ダントツ水溶剤	クロチアニジン	収穫前日まで	3回以内	4A
	テルスターフロアブル	ビフェントリン	収穫前日まで	3回以内	3A

IRAC コードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRAC コードの詳細は、https://www.jcpa.or.jp/labo/pdf/2020/mechanism_irac02.pdf を参照する。

薬剤散布の際は、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病虫害防除室

電話：0561-62-0085（内線471）